

01. 株式会社 443プランニング

経験値に関わらず、 誰でも短時間で同じように質と生産性を上げる努力

自ら開発した治具で
商品の質と
生産性の向上を目指す



取締役 菅原 輝代美
株式会社 443プランニング
〒010-0511
男鹿市船川港船川字海岸通り2-2-4
TEL:0185-22-1255
FAX:0185-22-1257

キャップ縫製やニット製品の製造を行う

男鹿市船川に本社兼工場を持つ、株式会社443(フォーフォーティスリー)プランニング。主に帽子の縫製加工、ニット帽や手袋などの編立加工を行っており、取引先には有名帽子メーカーをはじめ数々の国内アパレルメーカーがある。製品のほとんどは受注生産だが、自社でも企画・デザインなどを行っており、自社製品を道の駅で販売したり、ふるさと納税の返礼品として提供したりしている。

完成品として納品することが多い同社だが、唯一ニット帽で使用される「ボンボン」は部品として製造を行っている。ボンボンは多量の毛糸を束にし、等間隔に紐で縛ったものをカットした後、型紙などを使用してハサミで丸く形を整えて仕上げている。しかし、これらの手作業は仕上げるために時間を要することや、スタッフの経験値によっては仕上がりにばらつきが発生するなど、担当者である取締役の菅原輝代美さんは、誰もが同じものを短時間で作れる方法がないか、日々頭を悩ませていた。

産業技術センターが全面的にバックアップ

ある日、活性化センターが同社を訪問した際、菅原さんは開発について何かいい方法がないかを相談。秋田県産業技術センター先進プロセス開発部の研究員を紹介してもらい、作業の効率化を図るため、治具の開発を進めることになった。

治具を使うことで、安定した状態での作業となるため、時間が短縮できる上、同じ形にカットすることができる。産業技術センターの研究員と何度も試作を繰り返すうち、菅原さんは自身でCADを操作して3Dプリンタで治具を製作してみたいと考えようになった。そこで、研修制度を利用して製作方法を一から学び、現在は自らCADを操作して治具を製作している。

菅原さんは「産業技術センターでは、手取り足取り丁寧にCADの操作方法を教えていただいて感謝しています。また、活性化センターにはいつも親身に相談に乗ってくれて相談してよかった」と話す。試作を重ね、精度が上がっているものの、まだ納得がいく治具は完成しておらず、現在も開発を続けている。



長い毛糸をぐるぐると環状に束ね、結び目の中心で同じサイズになるようにカットすると、平たいボンボンができる。



完成した色とりどりのボンボンは、オーダーによってボリュームやサイズも異なる。



何度か試作を重ね、現在は球体に近い形に。中にボンボンを入れ、治具に沿ってハサミでカットして仕上げる。